令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工　業	科目	工業技術基礎	単位数	３	学年	１	科	電気科

１、科目の目標

工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高め、工業技術の役割を理解させるとともに、工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。

２、使用教科書・副教材

教科書　工業技術基礎（実教出版）
教材　　各実習テーマの教材資料

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	＜実習テーマ（１）＞ ・オリエンテーション ・オームの法則・報告書の書き方 ・テスターの製作と取扱い ・ICT 機器の利活用		３０
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	＜実習テーマ（２）＞ ・抵抗の直並列回路 ・電気工事 実技 基礎 ・ICT 機器の利活用 ・マイコン実習ボードの製作 ＜総合センター実習＞ ・加工機を用いた製作実習 ・プログラミングを用いた制御実習		４２
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	＜実習テーマ（３）＞ ・電気工事 実技 演習 ・デジタル回路 ・Ｃ言語プログラミング ・マイコン実習ボードのプログラミング		３３

４、評価の方法

学習評価	学習の成果	報告書、課題の完成度から理解度を総合的に評価する。	
		発問に対する解答とそれに至る思考過程、及び反応を評価する。	
		授業態度、行動等、様々な角度から主体性および積極性を評価する。	
	観点別評価	観点⑴：知識・技能を評価する。	観点別評価の内容は、別紙：「評価の観点の趣旨」Ｅ１による。
		観点⑵：思考・判断・表現を評価する。	
		観点⑶：主体的に学習に取り組む態度を評価する。	

５、学習にあたっての注意とアドバイス

工具や器具の扱い方及び機械や装置類の活用を踏まえて理解し、それを身につけること。
測定したデータや現象について、科学的な根拠に基づき結果を考察すること。
協働作業を通じて、積極的にコミュニケーションを図り、責任を持って学習に取り組むこと。
様々な実験・実習において、自ら疑問を持ち、積極的に学ぶ意思を持つこと。